

社会資本総合整備計画

羽生田駅周辺地区

平成 2 8 年 1 2 月

新潟県 田上町

社会資本総合整備計画（市街地整備）

計画の名称	羽生田駅周辺地区都市再生整備計画			重点計画の該当	
計画の期間	平成28年度～平成32年度（5年間）	交付対象	田上町		
計画の目標	<p>田上町は、農業と観光を基幹産業とした人口約1.3万人の町である。新潟県内トップの筍の産地であるとともに、竹、梅、曾根人参など特産品を活かした地域経済活性化に向けた取組みを推進している。町では、今後、急速な少子・高齢化に直面する中で、コンパクトなまちづくりを標榜し、公共交通の中心であるJR田上駅と羽生田駅周辺をそれぞれ「地域拠点」と位置づけ、高齢者を含めた町民が便利に安心して暮らせる都市整備を目指している。</p> <p>都市再生整備計画事業を実施する羽生田駅周辺地区は、商業や医療等生活サービス機能に加え、町役場、総合保健福祉センター、商工会館、幼児園、中学校などの公共機能が集まり、町の中心としての役割を担う地区である。本地区では、既存公共機能どうしの連携を図りながら、更なる都市機能強化を図るとともに、高齢者を含む町民がこれらの公共施設を利用しやすくなることで、多様な交流が広がる拠点地区の形成を目指している。また、町役場隣に道の駅（H28年1月「重点道の駅」に選定）整備が予定され、東町者との交流を起爆剤とした新たなまちづくりにより、町の賑わいを再生し、雇用創出や定住確保につなげていくことを目指している。</p> <p>こうした中、本計画の目標を「町の拠点としての羽生田地区の賑わいづくり」と設定した上で、「1. 多様なつながりを生み出す都市機能の整備」、「2. 公共機能相互のネットワーク化」、「3. 町民参加による新たな地域価値の創造」に重点を置いて取り組んでいく。なお、当町では、平成28年度から「立地適正化計画」の策定に着手し、コンパクト+ネットワーク型の都市形成に向けた着実な取組みを進めていく予定である。</p>				

計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> ・（仮）地域交流会館の年間利用者数を19,288人／年（H26）から34,000人／年（H32）に増加 ・まちおこし活動参加者数を1,830人／年（H27）から15,000人／年（H32）に増加 ・町民の暮らしの満足度を141.1点（H23）から152.8点（H32）に増加 				
----------------	---	--	--	--	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H31末)	最終目標値 (H32末)	
(仮)地域交流会館の年間利用者数実測値を集計する。	19,288人／年		34,000人／年	
原ヶ崎交流センターおけるまちおこし活動延べ参加者数を集計する。	1,830人／年		15,000人／年	
町が実施する町民アンケート結果で、「高齢者の生きがいづくり」、「地域資源を活用した活動の促進」、「多様な交流の推進」の3項目に関する満足度の点数を調査する。	141.1点		152.8点	

全体事業費	合計 (A+B+C+D)	2,171百万円	A	2,171百万円	B	0百万円	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.00%
-------	-----------------	----------	---	----------	---	------	---	------	---	------	-----------------------------	-------

交付対象事業

A 基幹事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	B/C	備考
									H28	H29	H30	H31	H32			
A-1	都市再生	一般	田上町	直接	田上町	羽生田駅周辺地区都市再生整備計画	高次都市施設等 (41.8ha)	田上町						2,171		
合計												2,171				

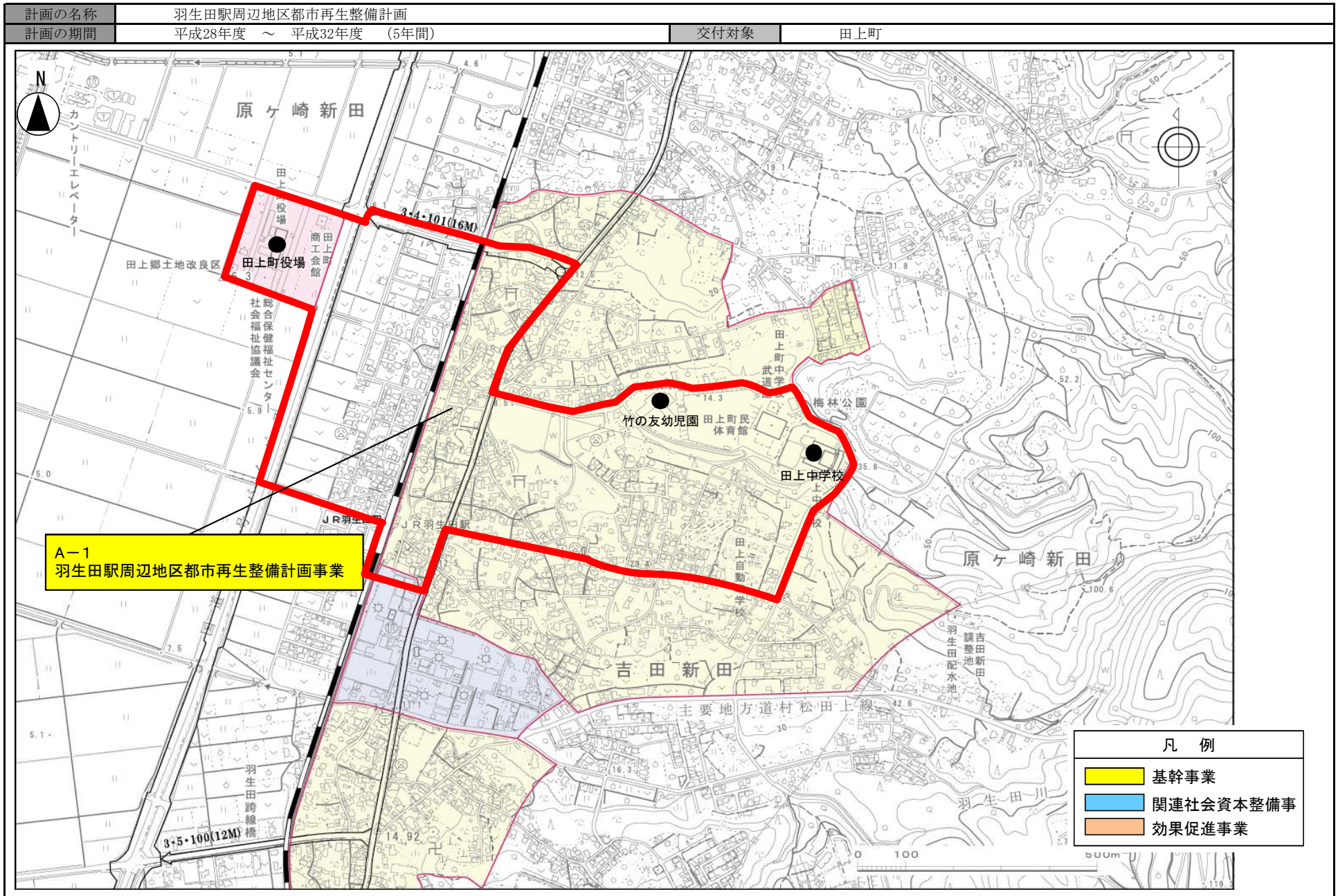
B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	B/C	備考
									H28	H29	H30	H31	H32			
合計												0				

C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H28	H29	H30	H31	H32		
合計															

番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H28	H29	H30	H31	H32		
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考

(参考図面) 市街地整備



社会資本整備総合交付金チェックシート

(都市再生整備計画事業等タイプ)

計画の名称: 羽生田駅周辺地区都市再生整備計画 事業主体名: 新潟県田上町

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①都市再生基本方針との適合等	
1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	✓
2) 上位計画等と整合性が確保されている。	✓
②地域の課題への対応	
1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	✓
2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	✓
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	✓
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	✓
3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	✓
4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	✓
5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	✓
④事業の効果	
1) 十分な事業効果が確認されている。	✓
2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	✓
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意	
1) まちづくりに向けた機運がある。	✓
2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	✓
3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	✓
⑥円滑な事業執行の環境	
1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	✓
2) 交付期間中の計画管理(モニタリング)を実施する予定である。	✓
3) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	✓